

平成29年度

滋賀県交通安全女性団体連合会 指導者研修会

「平成 29 年度 滋賀県交通安全女性団体連合会指導者研修会」が去る10月20日午後1時30分から滋賀県庁新館7階大会議室で開催されました。

本研修会は、悲惨な交通事故を防止し、各地域で実践している活動や直面している諸問題について情報交換等を積極的に行い、交通安全対策におけるリーダーとしての役割を深く理解するとともに、より効果的な交通安全活動の推進を図ることを目的として実施されました。

県内で活躍されております約130名の皆さんが参加され今後の交通安全啓発について活かしていただける時間を過ごしていただきました。



小崎会長の挨拶から始まりました。
多くの方が熱心に研修会に参加して
いただきました。

講演 「自転車の関係する交通事故情勢について」



講師

一般財団法人日本交通安全教育普及協会

石井 征之 様

自転車の安全利用と注意点を分かりやすく
教えていただきました。元高校教師ならではの
視点から、子どもの安全のために学校や家
庭、地域の役割や交通安全ボランティア活動
の大切さもお話いただきました。



石井様の熱意の感じられる講演に、皆さん聞き入っておられる様子でした。

講演「東日本大震災復興に向けて活動した交通安全教育について」

講師

滋賀県警察本部交通企画課

田中 克弥 様

平成24年2月1日から3年間にわたり、東日本大震災復興支援のために福島県いわき市で腹話術による交通安全教育を行い、子ども達に夢と希望を与えた様子についてお話をいただきました。楽しく、心温まる講演でした。



アンケートより・・・

- 講演は時間を忘れるくらい集中して聞いた。交通安全教育の大切さを認識する事が出来た。
- 自分達が行っているボランティアの大切さが認識できた。啓発活動を頑張りたいと思った。
- 交通事故に関する身近な問題や、誰もが少しの事で防ぐ事が出来るという事を知った。もっと多くの人達に今日の講演を聞かせてあげたい。
- 震災当時の事がよくわかり、改めて被害の大きさに驚いた。田中さんの仕事ぶりに感心した。
- 福島県での体験談に大変感激した。自身も腹話術をしているので、みんなの記憶に長く残る交通安全教室が出来るよう頑張りたい。

最後に、「おうみ交通安全ソング」を、参加者全員で合唱しました。

